

先端技術キーワード解説

知っておきたい最新の動き

[アバターロボット (avatar robot)]

コロナ禍の中、今季、ビジネス・ブレイクスルー (BBT) 大学が、東京都内のホテルで、「アバターロボット」による完全オンライン卒業式を開催したとの発表がありました。ここでは、4名の卒業生が、自らの分身となるアバターロボットを自宅で操作し、学長から卒業証書を受け取ったとのこと。

この「アバターロボット」とは、どのようなものでしょうか。

1. アバターロボットとは

アバターロボットとは、人間が遠隔から操作をするロボットです。

技術的には、テレグジスタンス (Teleexistence) に属します。これは、バーチャルリアリティの一分野で、遠隔地にある物や人があたかも近くにあるかのように感じながら、コミュニケーション、操作などをリアルタイムに行う技術です。

2. 現在までの動き

現在まで、いくつかの企業で動きがあります。その一部を以下に示します。

(1) ANA ホールディングス

現在、最も精力的に取り組んでいる企業が ANA ホールディングスです。アバターロボットを活用するプラットフォーム「avatar-in」を通じて、自宅から、遠隔地に置かれたアバターロボット「newme」にアクセスし、ショッピング、公共機関の利用、水族館の見学などを行うデモをしています。アバターロボット「newme」には、マイクとスピーカーが装備され、タブレット大の画面を備えて4輪で移動しながら周囲の人とコミュニケーションを行います。

前出のビジネス・ブレイクスルー (BBT) 大学の卒業式、また、宇部工業高等専門学校の入学式でも活用されました。

(2) 大分県と Mira Robotics 社など

大分県は、特異な取組を行っています。遠隔操作ロボットアバターを、人手不足対策等の様々な課題解決に活用するとともに、新たな産業創出に挑戦し、「世界最先端の地方創生モデル」を実現する取組みを始めるとのことです。すでに、大分県は、Mira Robotics 社のアバターロボット「ugo」を活用して、トイレ清掃業務の公開実験を行っています。

(3) 日本航空 (JAL)

日本航空では、空港での活用を想定したアバターロボット「JET」を開発しました。「JET」は VR の技術を使い、ロボットの移動、腕と顔を動かすことによる感情表現、ロボットを介した空港利用者との音声通話を行います。「JET」を用いて、羽田空港で、空港利用者案内業務のトライアルを行ったとのこと。

この技術を活用すれば、在宅勤務をしている社員が、遠隔で業務を行えるようになるとのこと。



3. 最近の動き

最近の動きとして、ソニーAI と ANA グループの avatarin は、次世代遠隔操作ロボットを開発することについて基本合意したそうです。

これから、アバターロボットの開発は、ますます、加速しそうです。

[参考文献]

- [1] BBT 大学、完全オンラインで「アバター卒業式」を開催！ 新型コロナ対応で、式典のあり方にブレークスルー <https://bbt.ac/news/news/010344.html>
- [2] 遠隔操作ロボットアバターを通じた世界最先端地方創生モデルの実現 https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kinmirai/pdf/1814_kinmirai_oita.pdf
- [3] 2020 年はアバターロボット元年！続々と実用化を目指すサービスが登場（写真を引用） https://project.nikkeibp.co.jp/mirakoto/atcl/robotics/h_vol29/

(注)

本解説は、執筆当時の状況に基づいて解説をしております。ご覧になる時には、状況が変わっている可能性がありますので、ご注意をお願いします。

無断転載、転載、転用は固くお断りいたします。

Copyright (C) Satoru Haga 2020, All right reserved.

技術・経営の戦略研究・トータルサポーター	工学博士 中小企業診断士 社会保険労務士(登録予定)
ティー・エム研究所	代表 芳賀 知
E-Mail: info_tm-lab@mbn.nifty.com	URL: http://tm-lab@a.la9.jp/